

〜みどりの豊かな福祉のまち、人に優しいバリアフリーのまち〜

生活者せたがや

No. 184

【編集・発行】2022年1月20日号
世田谷・生活者ネットワーク 代表/山木きょう子
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-16-16安藤ビル301
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744
email: setagaya@seikatsusha.net
http://setagaya.seikatsusha.me

福祉のまち 世田谷に

世田谷・生活者ネットワークでは、持続可能で多様な人々が生き生きと暮らしていきけるまちづくりを具体的に提案している。昨年春、福祉の街といわれる梅丘に、総合福祉センター「うめとぴあ」が誕生しました。「うめとぴあ」は車椅子などの利用が前提のバリアフリー建築です。また、この建物は世田谷区のモデルケースになる省エネ、創エネ、雨水利用など様々な環境配慮でも注目されています。

物理的な障壁はもちろん心のバリアフリーも目指して、子ども、若者、高齢者、障がいのあるなしに関わらず、誰もが生きやすい優しい街をつくるため、2022年も活動してまいります。

江関
利子

えり
金子

みち
田中

高岡
じゅん子

バリアフリーのDNA

1997年、都議の大河原まさ子さん(現衆議院議員)が、市民とともにまちのバリアチェックをして「東京をバリアフリーのまちに」という政策を打ち出しました。当時は道路の段差やエレベーターのない駅など、高齢者や障がい者がまちに出かける事は全く考えられていませんでした。あれから20年以上経ちましたが、改めて自らが中途障がい者となった大河原さんと車いす利用者の目線に立って点検すると、未だに街にバリアが多いことに気づきます。さらにLGBTQや障がいへの理解、格差社会における子どもたちへの影響など、分断をつくるすべての障壁をなくすことが今求められています。

大河原まさ子さん、山木きょう子とともに「介護の崩壊をさせない実行委員会」要望書提出▲



2022 HAPPY NEW YEAR
世田谷・生活者ネットワーク

生活者ネットワークは市民と議会・行政をつなぐパイプ役として、地方議会に議員を送りだしています。

【表紙写真】「総合福祉センターうめとぴあ」にて

「世田谷をどんなまちに？」 ～政策づくりワークショップ～



4月23日(土) 14:00～
@スリーアップワンビルの会議室

これからの世田谷をどんな街にしたいですか？誰もが暮らしやすい優しい街ってどんな街？と一緒に考えてみませんか？政策づくりのワークショップを開催します。

世田谷・生活者ネットワークでは、毎月オンライン併用で「おしゃべりサロン」を開催しています。

今後も皆さまのご要望に応じて、トピックを考え開催します。



●2021/10/28 講師:オキナカ理恵さん
「どんな恋してる？ パートナーとのきより感を、考える」

- 2021/11/25 講師:おおくまゆきこ先生
「希望をもって生きるまち～認知症とともに～」
- 2022/1/27 石崎公子さんを講師に開催予定
「終活」ってなあに？

これまでのおしゃべりサロン

「うめとぴあ」見学会参加者募集



「うめとぴあ」では、認知症在宅生活支援センターや、心の問題を抱える当事者によるピアサポート事業など、生活者ネットワークが要望し実現したユニークな事業が行われています。今年度中に初めての見学会を企画しています。日程は、新型コロナウイルスの感染の状況次第になります。お申込みの方には、日程が決まり次第ご連絡を差し上げます。まずは、お問い合わせください。

【日程】1月下旬～2月上旬頃
【企画概要】参加費無料
現地集合・現地解散
所要時間：2時間程度
【定員】10名
【主催】世田谷・生活者ネットワーク 福祉部会



カンパをお願いします

生活者ネットワークの活動は、カンパとボランティアで支えられています。カンパは、1口1,000円からいくらでもいつでもOKです。どうぞよろしく願いいたします。

【ゆうちょ銀行】
世田谷・生活者ネットワーク
記号)00110-1-765709
店名)019
普)0765709



暮らしの中での困りごとなど、お気軽にご相談ください。



- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

☎03-3420-0737
世田谷・生活者ネットワークHPからもお問い合わせいただけます。